



『創業20周年にあたり』 代表取締役 小池 修

お陰様を持ちまして、株式会社クレイブは本年創立20周年を迎えました。2000年6月1日、多くの人に後押しされてここ錦糸町に事務所を構えました。2000年4月1日にリサイクル法が施行され、同日に派遣法改正でドライバー職の派遣が解禁された事も重なり、おおよそ3ヶ月で仲間を集め、どうしても他社に先駆けて参入したいと準備に走り回りました。しかし世情は、バブル崩壊後の不景気の真っ最中だったため厳しい意見も多く、時代を読み、今は辞めた方がいい、と心配してくれた人も多くありました。その中の一人に、20周年を迎えたよと創立記念品を持って行くと、今の時代に創立20周年をむかえられる企業は0.03%だとかで、凄い企業だと褒めてくれました。私は大いに喜び、ウイスキーを1本追加してしまいました。

本年に入ってご存じの通りコロナ騒動があり、3月頃はコロナ過で仕事をするのは不安だと言う言葉がスタッフさんやそのご家族から多く寄せられていました。ですが5月頃には、仕事が継続している事への感謝に代わり、都民の皆さまからも感謝の言葉や感謝の手紙などが多く寄せられるようになりました。またマスコミや現場からもたくさんの報告がとどき社内は大いに士気が上がりました。

本日現在も300名を優に超えるスタッフさんが、現場を支えています。その中には約50名超の外国籍スタッフさんが在籍しています。クレイブの現場は国際色豊かです。

コロナが収束した後、日本の景気は未曾有の不景気に突入すると予想されています。そのような中で、会社運営の舵取りに間違いの無いように細心の注意を払っていきます。

過去も含め、今までクレイブに関わって頂いたすべての関係者の皆さま、顧客企業さま、スタッフの皆さまに、社員とともに心からの感謝を申し上げます。



『クレイブ20周年を迎えて』

専務取締役 池田 知恵子



創立20周年を振り返ってみると本当にあっという間でした。創立5年ほどから10年目位まで1日24時間、年間365日稼働するという身体

に見合わない、大きな業務を受託し、フル稼働の業務体制となりました。結果クレイブの大成長につながりましたが、一気に増えたスタッフさんの管理もままならず、クレイブ社とスタッフの皆さんとの話し合いが深夜にまで及んだり、連日連夜派遣先企業様を訪問したりと、無我夢中で過ごした時期でもありました。当時は社員も役員も全員が疲労困憊していました。

それでも音を上げずに、一つ一つ丁寧に向き合い社員、スタッフさんと歩んできたおかげで、本年無事20周年を迎えることができました。

その間辛抱強くお付き合いくださったお取引先企業様の存在は何よりもクレイブを力づけてくださいました。振り返ってみればいい時も、苦しかった時もありましたが、その全てがクレイブの栄養として一つも漏らさず取り込まれたのだと実感いたします。これからは30年を目指して社員一同誠心誠意邁進してまいります。

スタッフの皆さま、お取引先企業様、クレイブが、これからも末長くますます固い信頼と絆を結べますようよろしくお願い



幻の「20周年記念イベント」

2020年6月1日は、クレイブの創立満20年の記念日でした。

もちろん何ヶ月も前からプロジェクトチームを組んで今年度のいろんな行事を計画し、お店やイベントの予約もしっかり押さえた矢先の『新型コロナウイルス』の感染拡大でした。当然、予定は全てキャンセルとなり、プロジェクトチームも本番なく解散となりました。

今年は本来なら「東京2020オリンピック・パラリンピック」の開催の年で、本当に賑やかな一年となるはずでした。本当に残念で悔やまれます。

でもまだ今年度は終わっていません！
もしかしたら数ヶ月後にコロナが収束し、みんなで集まってワイワイ出来る日がくるかもしれません！！
そんな淡い期待をもって日々精進しましょう♪

下の写真は、6月始まってすぐ、全社員から社長・専務へ20周年の記念品を贈らせていただいたときのものです。
サプライズでしたのでとても喜んでいただきました♪

社長：ゴールド名刺
専務：印鑑ケースとペーパーナイフ

